

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「中国A株オープン」は、このたび、第19期の決算を行いました。

当ファンドは、中国A株マザーファンドおよび中国A株コネクタマザーファンドを通じて、中国経済の発展で恩恵を受けるとされる中国A株市場上場の株式を中心に投資を行うことで、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第19期末(2022年4月21日)

基準価額	19,826円
純資産総額	193百万円
第19期	
騰落率	△ 19.7%
分配金(税引前)合計	200円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

中国A株オープン

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2021年10月22日～2022年4月21日

交付運用報告書

第19期(決算日2022年4月21日)



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

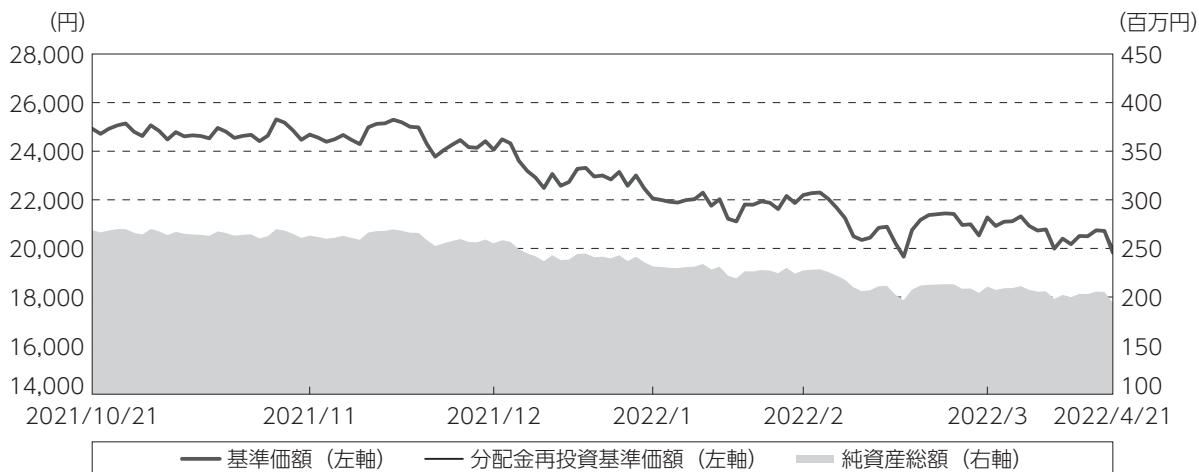
<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年10月22日～2022年4月21日)



期 首：24,926円

期 末：19,826円 (既払分配金(税引前)：200円)

騰落率：△ 19.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年10月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

○中国A株マザーファンド

- ・不動産規制の緩和を背景に、不動産株が上昇したこと。
- ・自動運転ソリューションやスマートコックピット需要の高まりから、車載用エレクトロニクス企業株が上昇したこと。
- ・為替市場で中国人民元が対円で上昇したこと。

○中国A株コネクタマザーファンド

- ・自動運転ソリューションやスマートコックピット需要の高まりから、車載用エレクトロニクス企業株が上昇したこと。
- ・食品株や酒造株の株価が安定的に推移したこと。
- ・為替市場でオフショア中国人民元が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

○中国A株マザーファンド

- ・景気減速や原材料高を背景とした収益見通しの悪化が懸念されたため、組み入れていた自動車株、資本財株、テクノロジー株が軟調に推移したこと。

○中国A株コネクタマザーファンド

- ・景気減速や原材料高を背景とした収益見通しの悪化が懸念されたため、組み入れていた自動車株、資本財株、テクノロジー株が軟調に推移したこと。

1万口当たりの費用明細

(2021年10月22日～2022年4月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	241 (108) (124) (9)	1.042 (0.466) (0.538) (0.038)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	31 (31)	0.134 (0.134)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	15 (15)	0.063 (0.063)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	132 (129) (2) (1)	0.568 (0.559) (0.007) (0.003)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	419	1.807	
期中の平均基準価額は、23,149円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

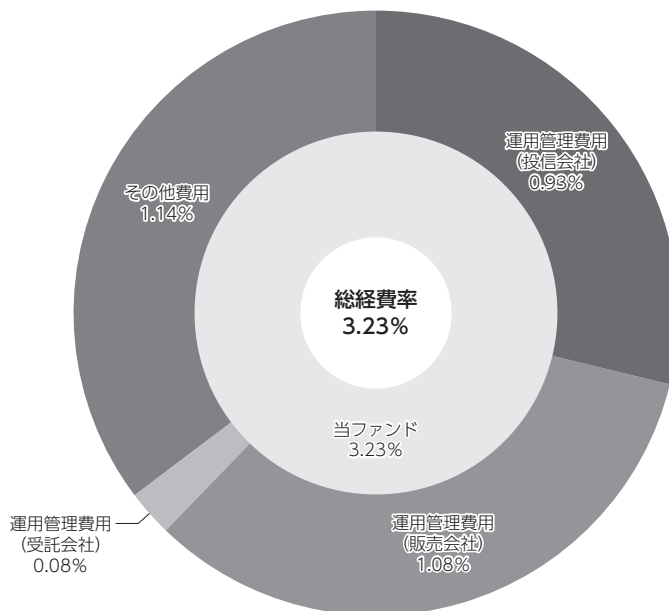
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.23%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2017年4月21日～2022年4月21日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2017年4月21日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年4月21日 期初	2018年4月23日 決算日	2019年4月22日 決算日	2020年4月21日 決算日	2021年4月21日 決算日	2022年4月21日 決算日
基準価額 (円)	13,636	17,214	17,428	16,416	24,306	19,826
期間分配金合計(税引前) (円)	—	400	400	400	400	400
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	29.1	3.9	△ 3.5	50.6	△ 16.9
上海/シンセンCSI300指数(円換算)騰落率 (%)	—	17.5	6.7	△ 14.9	44.2	△ 4.2
純資産総額 (百万円)	597	474	309	226	301	193

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 上海/シンセンCSI300指数(円換算)は当ファンドの参考指数であり、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

(2021年10月22日～2022年4月21日)

中国本土株式市場は、2021年11月以降は、新型コロナウイルス変異株の感染拡大や景気減速が懸念されたことおよび米国商務省が安全保障上問題がある企業を列挙した「エンティティ・リスト」に中国企業を追加したことを巡る米中対立の再燃等を受け軟調な動きとなりました。12月に入ると中国人民銀行による預金準備率の引き下げを好感し、中旬にかけて上昇しました。しかし、その後は新型コロナウイルスの感染急拡大で西安市が都市封鎖（ロックダウン）を開始したことや米金融政策の不透明感等が嫌気され、下落基調となりました。その後は、2022年2月24日にロシアによるウクライナ侵攻が始まったことで、商品価格の急上昇や世界的な景気減速が懸念され、株式市場は大幅に下落しました。3月末からは新型コロナウイルスの感染急拡大から上海市でロックダウンが始まり、その他各都市でもロックダウンや行動制限が拡大したことで更なる景気の落ち込みが警戒され、4月も軟調な展開が続きました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年10月22日～2022年4月21日)

当ファンドの運用は下記のマザーファンドを通じて行いました。

○中国A株マザーファンド

政府が推進するイノベーションや脱炭素を強化する政策を背景に、収益の拡大が見込まれるEV関連株、再生可能エネルギー関連株、デジタル技術、半導体等、テクノロジー株を高位とする運用を行いました。一方、景気減速による収益見通しの悪化が懸念されたため、免税店・酒造株等消費関連株、ヘルスケア株、資本財株や素材株の一部を売却しました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、原則として為替ヘッジを行いませんでした。

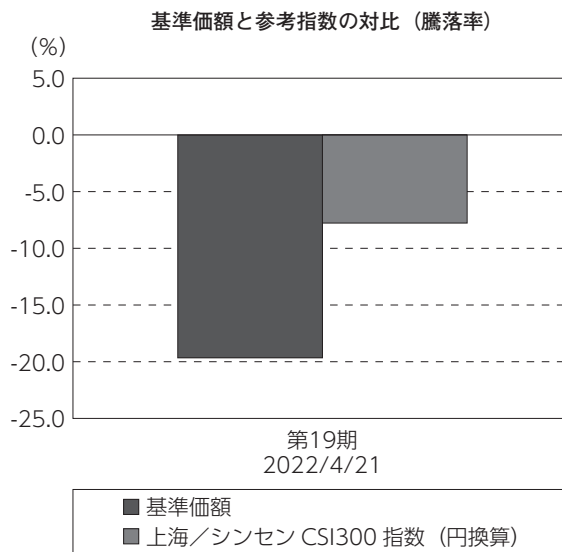
○中国A株コネクトマザーファンド

政府が推進するイノベーションや脱炭素を強化する政策を背景に、収益の拡大が見込まれるEV関連株、再生可能エネルギー関連株、デジタル技術、半導体等、テクノロジー株を高位とする運用を行いました。一方、景気減速による収益見通しの悪化が懸念されたため、免税店・酒造株等消費関連株、ヘルスケア株、資本財株や素材株の一部を売却しました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、原則として為替ヘッジを行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年10月22日～2022年4月21日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、上海/シンセンCSI300指数（円換算）です。

分配金

(2021年10月22日～2022年4月21日)

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当期の分配につきましては、分配可能額や基準価額水準などを考慮した結果、1万口当たり200円（税引前）とさせていただきます。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第19期
	2021年10月22日～ 2022年4月21日
当期分配金	200
(対基準価額比率)	0.999%
当期の収益	—
当期の収益以外	200
翌期繰越分配対象額	12,956

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

当面の中国本土株式市場については、中国各都市でのロックダウンや行動制限の導入を背景に景気回復の遅れや企業業績の悪化が懸念されており、当面は不安定な展開が続くと想定されます。しかし、中国当局による景気安定化政策の発表は相次いでおり、中長期的には積極的な財政政策と金融緩和の継続、各種景気刺激策の実施により、年央から投資環境は徐々に改善に向かうと推察します。

(運用方針)

<中国A株オープン>

主要投資対象である「中国A株マザーファンド」および「中国A株コネクタマザーファンド」の組入れを高位に維持して運用する方針ですが、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。また、中国のマクロ経済の分析や、銘柄選択等にあたっては、チャイナ・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッドからの投資アドバイスを参考にいたします。

○中国A株マザーファンド

マクロ環境や企業業績動向を分析し、業種バランスや銘柄選択を重視した投資を行う方針です。中国政府の政策スタンスや企業戦略を注視し、株式市場の投資テーマや個別銘柄の株価バリュエーション、流動性などを考慮し、銘柄を選別する方針です。

○中国A株コネクタマザーファンド

中国政府による政策支援が強く見込まれる業種を中心に、業績見通しが相対的に良好な銘柄に対して積極的にウェイト付けを行う方針です。中国政府が第14次5ヵ年計画の下、イノベーションや脱炭素を強化する政策を推進していることを勘案し、EV関連企業、再生エネルギー関連企業、新素材、半導体、IT（情報技術）・デジタル技術、AI（人工知能）関連株に注目します。

お知らせ

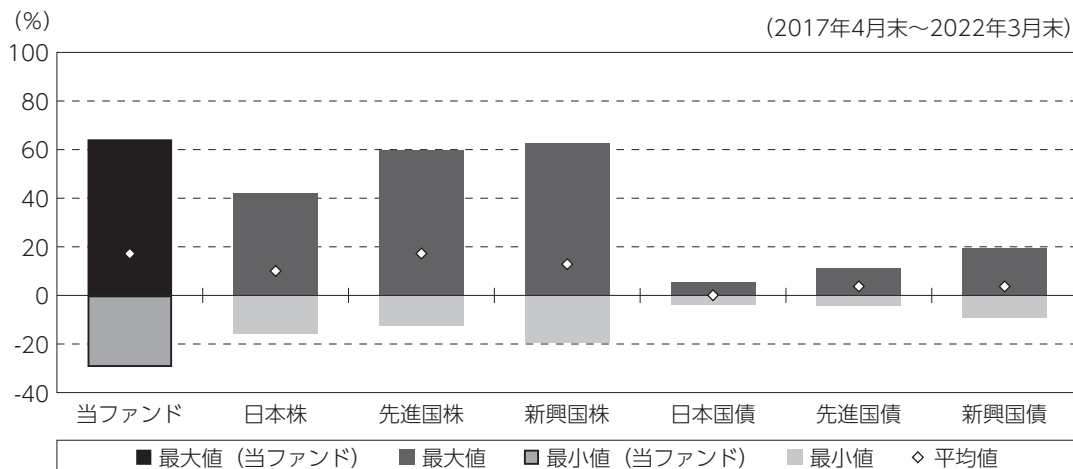
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2012年11月30日から2022年10月21日までです。	
運用方針	中国A株マザーファンドおよび中国A株コネクトマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、中国経済の発展で恩恵を受けるとされる中国A株市場上場の株式を中心に投資を行うことで、投資信託財産の成長を目指します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。また、中国A株の上場投資信託（ETF）および香港市場上場株式に直接投資する場合があります。
	中国A株マザーファンド	主に中国国内の取引所（上海証券取引所および深セン証券取引所）に上場する中国A株を投資対象とします。
	中国A株コネクトマザーファンド	中国A株を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	中国A株マザーファンド	投資にあたっては、中国A株市場上場株式の中から、利益成長やバリュエーションから見て、中長期的に株価の上昇が見込まれる銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
	中国A株コネクトマザーファンド	上海／深セン・香港ストックコネクトを利用し、香港市場を通じて中国の取引所に上場している中国A株に投資を行います。投資にあたっては、中国A株の中から、利益成長やバリュエーションから見て、中長期的に株価の上昇が見込まれる銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
分配方針	<p>毎年4月21日および10月21日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。</p> <p>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p>	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	64.2	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	△ 29.5	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 4.0	△ 4.5	△ 9.4
平均値	17.2	10.1	17.3	12.9	0.1	3.7	3.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年4月から2022年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2022年4月21日現在)

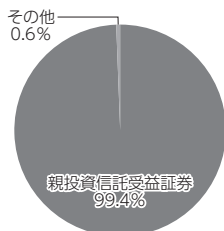
○組入上位ファンド

銘柄名	第19期末
	%
中国A株コネクトマザーファンド	51.3
中国A株マザーファンド	48.0
組入銘柄数	2銘柄

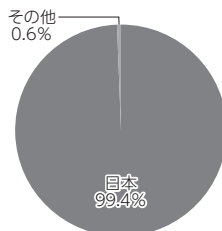
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

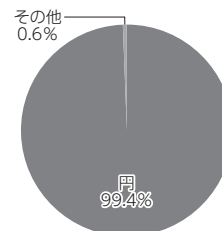
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

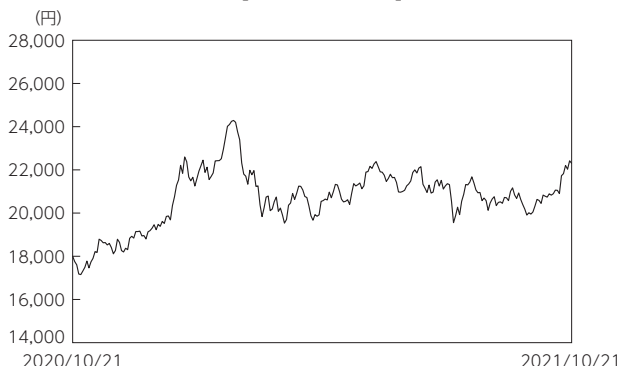
項目	第19期末
	2022年4月21日
純資産総額	193,939,169円
受益権総口数	97,818,354口
1万口当たり基準価額	19,826円

(注) 期中における追加設定元本額は406,108円、同解約元本額は10,389,799円です。

組入上位ファンドの概要

中国A株コネクタマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2020年10月22日～2021年10月21日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	51 (51)	0.250 (0.250)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	21 (21)	0.104 (0.104)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	120 (119) (1)	0.585 (0.581) (0.004)
合計	192	0.939

期中の平均基準価額は、20,541円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2021年10月21日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A	資本財	オフショア元	中国	8.4
2	CHINA TOURISM GROUP DUTY F-A	小売	オフショア元	中国	6.0
3	BYD CO LTD -A	自動車・自動車部品	オフショア元	中国	5.6
4	KWEI CHOW MOUTAI CO LTD-A	食品・飲料・タバコ	オフショア元	中国	4.8
5	EAST MONEY INFORMATION CO-A	各種金融	オフショア元	中国	4.7
6	APELOA PHARMACEUTICAL CO-A	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	オフショア元	中国	4.1
7	WUXI SHANGJI AUTOMATION CO-A	資本財	オフショア元	中国	3.4
8	WUXI APPTTEC CO LTD-A	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	オフショア元	中国	3.3
9	YUNNAN ENERGY NEW MATERIAL-A	素材	オフショア元	中国	3.2
10	LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A	半導体・半導体製造装置	オフショア元	中国	3.1
	組入銘柄数		36銘柄		

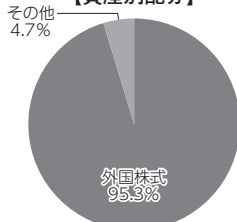
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

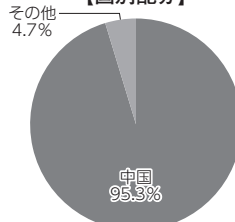
(注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

(注) ストックコネクタを通じた中国A株への投資に際し、取引通貨はオフショア元の為替レートが適用されます。

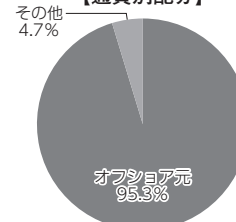
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

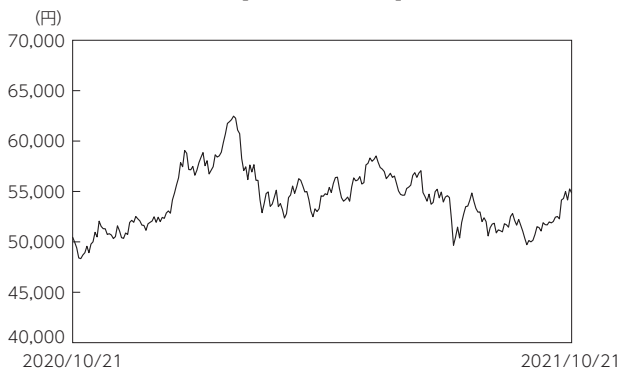
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

中国A株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2020年10月22日～2021年10月21日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	99 (99)	0.184 (0.184)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	50 (50)	0.092 (0.092)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	267 (119) (148)	0.494 (0.221) (0.274)
合計	416	0.770

期中の平均基準価額は、53,952円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2021年10月21日現在)

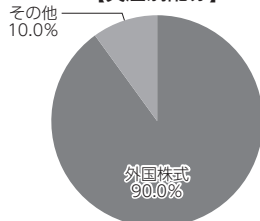
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A	資本財	元	中国	6.1%
2 CHINA TOURISM GROUP DUTY F-A	小売	元	中国	5.8%
3 BYD CO LTD -A	自動車・自動車部品	元	中国	4.1%
4 WUXI APPTec CO LTD-A	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	元	中国	3.9%
5 KWEI CHOW MOUTAI CO LTD-A	食品・飲料・タバコ	元	中国	3.9%
6 EAST MONEY INFORMATION CO-A	各種金融	元	中国	3.9%
7 SHANXI XINGHUACUN FEN WINE-A	食品・飲料・タバコ	元	中国	3.8%
8 WUXI SHANGJI AUTOMATION CO-A	資本財	元	中国	3.8%
9 SHENZHEN MINDRAY BIO-MEDIC-A	ヘルスケア機器・サービス	元	中国	3.8%
10 WULIANGYE YIBIN CO LTD-A	食品・飲料・タバコ	元	中国	3.3%
組入銘柄数		42銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

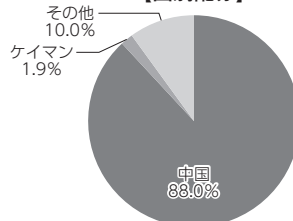
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

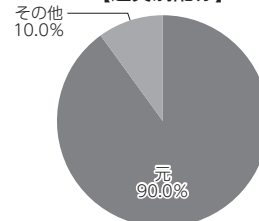
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。